

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 69 号
医療法人 せいらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
(パソコン) <http://www.ukita.gr.jp>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2007年4月5日(木)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(69) 子宮内膜症 Ⅲ



和田東郭

温かいですね。例年よりも一週間早く桜に会えました。この美しい花を咲かせるためになんと大きな根を張っているんでしょう。同じ桜でも、私の心の奥にあるのは「京都の桜」です。過去に訪れた場所が次から次へ脳裏に浮かんできます。昨年、御室の桜と出会うことができました。背の低い桜の花と世界遺産に登録された五重塔のコントラストが見事でした。この桜は「わたしやお多福、御室の桜、鼻は低うても人がよく」と歌われたそうです。

今月は子宮内膜症Ⅲで、せせらぎ四十四号、五十五号でもお話ししたことがあります。

「月経のときは調子が悪くてあたり前」と思っています。以前は三〇〜四〇代の女性に多い病気でした。それが最近は一〇代〜二〇代の女性にも増えています。今

や月経のある女性の一〇人に一人は持っているとい推定されています。子宮内膜に似た組織が子宮以外の場所でも増殖し、月経のたびにその場所でも出血を繰り返す病気です。骨盤内に発生しやすく、卵巣(卵巣ヨコレート嚢胞)、卵管、子宮と直腸の間(ダグラス窩)、膈、



仁和寺の桜(京都)

直腸、腹膜(ブルーベリースポット)など、子宮の周りに多く見られます。まに、尿管、膀胱、横隔膜、肺、リンパ節、脳などに発生します。そのため、月経時の下腹痛、月経時以外の下腹痛、月経時レバー状のかたまり、腰痛、排便痛、不妊症、過多月経、性交痛、疲労感などの症状を訴えることから病気が始まります。治療はGnRHα製剤、ダナゾール、低用量ピルが用いられていますが、それ、更年期障害様症状や骨粗鬆症、体重増加や二キビや肝機能障害などの副作用があります。当院では、できる限り漢方薬(エキス剤、湯液)で治療する方針ですが、前記の西洋薬を併用することもあります。では実例に移ります。

三十一才女性、子宮内膜症、

月経痛、月経過多、排便痛、性交痛、便秘(四日に一回)。両ほほは赤黒く紅潮、胸脇苦満(両側季肋部の抵抗と圧痛)、心下痞硬、両側腹直筋緊張、臍上悸、臍傍抵抗と圧痛(両側)、脈は沈、弦。舌は紫紅色、乾薄黄苔。子宮は正常、卵巣に五cmのチヨコレート嚢胞、ダグラス窩に抵抗と圧痛を認めた。





そこで、柴胡疎肝湯（一貫堂）を処方。三ヶ月後、月経痛、排便痛、性交痛、便通は改善。卵巣チヨコレート嚢胞は不変。一年後、卵巣チヨコレート嚢胞は不変。五年後、チヨコレート嚢は消失。六年後、疎経活血湯十四逆散に変更して継続中。

五十九歳女性、**带状疱疹後肋間神経痛**、左胸部の疼痛（带状疱疹後）、憂鬱。顔は蒼白く、胸脇苦満、臍上悸、下腹部は膨満。脈は細、弦。舌は、淡紅色、薄湿白苔。そこで、桂姜棗草黄辛附湯（附子五g）を処方。一週間後、痛みが減った。二週間後、ほとんど痛みが消えた。念のため二週間分服用して廃薬。

五十七歳女性、**過敏性大腸**、下痢と便秘、疲れやすい、冷え症、足と顔のむくみ。両頬はやや紅潮、腹は全体に膨満、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、両側臍傍の抵抗と圧痛、臍下不仁（下腹部は膨満）。脈は弱、沈、細。舌は淡紅色、薄乾白苔。そこで、半夏瀉心湯を処方。二ヶ月後、下痢と便秘傾向はなくなった。そこで、柴胡桂枝湯と当归芍薬散加附子（附子三g）を処方。



〔院長〕

五ヶ月後、冷え、疲労感、顔や足のむくみが消失。服用している調子がよく、三年後の現在も継続中。七十三歳女性、**左季形性膝関節症**、足の冷え、足のむくみ、腰痛。血色良好、お腹は全体が膨満。脈、浮弱。心下痞硬、両側臍傍の抵抗と圧痛、臍下不仁。舌は淡紅色、湿薄白苔、舌下静脈怒張。そこで、左膝部（陰陵泉、委中、陽陵泉）に鍼を実施。一週間後、痛みは軽減。一週間に一度ずつ一ヶ月続け、防己黄耆湯と薏苡仁湯を処方。二年後の現在、時々鍼をしながら漢方薬を継続している。

皆様方が快くゆつたりと診察を受けられるように外来の看護師や助産師を固定化し、人数も増やしていく予定です。お気軽に声をおかけください。

次回は、**老人の漢方**についてです。

带状疱疹後神経痛

带状疱疹にかかると、およそ1週間くらい前から違和感やビリビリした痛みを感じ、左右どちらかの肋間神経に沿って赤い発疹と水ぶくれができます。皮膚の症状が消えた後にも、数か月から数年以上にわたって痛みが残る場合、带状疱疹後神経痛といいます。頻度は10%程度ですが、70歳代では50%以上と言われています。冷えると悪化するタイプと温めると悪化するタイプがあります。漢方薬による治療もかなり有効です。



過敏性大腸

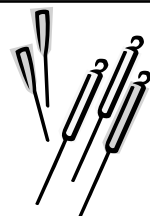
漢方医学では、「心」と「小腸」は表裏の関係にあり、「こころ」の苦痛が「腸」に表れます。「下痢タイプ」「便秘タイプ」「下痢便秘交替タイプ」があり、感情（怒り）、緊張（ストレス）、冷え、水毒（むくみ）を調整する漢方薬をお試しください。また、規則正しい生活スタイルを取り戻すように工夫（努力）してください。対人関係の是正も症状の改善に欠かせません。



鍼

当院では、鍼を鍼管と呼ばれる管の中に入れ鍼管からでた鍼柄を叩いて皮膚に刺入し、刺入後鍼管を外す管鍼法と鍼を直接皮膚へ刺入する刺鍼法（主として円皮針）を実施しています。高血圧症に伴う項背部痛（凝り）、五十肩、むち打ち症、変形性膝関節症、腰痛（ぎっくり腰）などに効果があります。

妊娠中の腰痛、腹緊、肩こり、骨盤位矯正にも役立ちます。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、**しっかり蓋**をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)で保管**して下さい。
漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、**痺れ**、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
 - ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膈分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約-漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります。予約制、2回/月)。
午後2時～2時20分、2時20分～40分、2時40分～3時、
3時～3時20分、3時20分～3時40分。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス ・メシマコブ
・靈芝 ・AHCC ・サメ軟膏

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は**毎月確認**することになっています。保険が
使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、
早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、
その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。
往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問
診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、
膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、アトピー性皮膚炎、
ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、
いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、
足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーを
ご希望の方、**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を
書き**処置の欄**にチェックして下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約不要) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約—漢方外来(2回/月 土曜日):午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分

電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)

◇更年期外来(月～土曜日)(予約可):更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日)(予約可):赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日)(予約可):妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料):正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料):午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

前期と中期-母親教室

日時:平成19年4月7日、5月12日、6月2日の各土曜日

対象:妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約お願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。

立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

後 期 - 母 親 教 室

日時:平成19年4月11日(水)、21日(土)、25日(水)、5月9日(水)、

19日(土)、30日(水) 対象:妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。

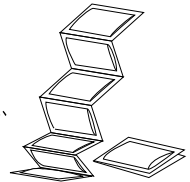
参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。

(“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。)



日本漢方

古代の中国(西暦200年頃、後漢の時代)に発達し完成をみた医術(傷寒論に基く)が日本へ渡来したのは5世紀頃で、その後も遣隋使や遣唐使の僧侶たちによって引続き導入されました。江戸末期から明治初期の頃、漢方という言葉は、蘭方(オランダ医学)と区別するために使われたことばです。現在、中国の医学は「中医学」朝鮮の医学は「東医学」または「漢医学」などと呼ばれ、「漢方」という呼称は日本にだけしかありません。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。
ご予約には、分娩予約カードと予約金10万円が必要です。
予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。

外来の予約

患者様の診察の待ち時間が短くなりますように、診察の時間予約をしています(再診の方のみ)。そのため、予約頂いている患者様を優先させて頂きます。また、通院中の患者様の中でお薬だけ・注射だけ・検査だけの場合は時間予約の必要はありませんので診察時間中にお越し下さい。

◆ご予約頂いておりましても、分娩などで診察を中断する事もございますのでどうかご理解頂きます様にお願い致します。

◆初診の方は予約できません。ご了承ください。

パソコンホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

お知らせの欄 (トップページ)
産婦人科のページ (入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ (外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ (在宅療養の支援)
健康のページ (健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
分娩希望の方はすべて受け付けています。

母乳相談(助産師)

母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。(電話予約可)
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時:毎週水、金曜日 正午～午後0時30分 (有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接:随時、各種保険加入、賞与:年2回、交通費支給。